

我が家のタイムライン作成表

作成年月日 年 月 日

平常時	気象・避難情報	避難の準備・確認
大雨発生の可能性	●警戒レベル1 早期注意情報	●避難先・避難経路の確認 ハザードマップや作成したタイムラインで避難のタイミング・避難先・避難経路を確認
大雨のおそれ 重大災害の兆候	●警戒レベル2 大雨注意報	●情報収集 テレビやインターネットなどで気象情報、台風の進路、警報の可能性について確認(P3参照) ●避難のタイミング・避難先 夜間から明け方に台風や大雨の予報が出ている場合は、日が暮れる前に早めに避難(早期避難) どんな情報・状況をきっかけに
避難開始時期 災害発生のおそれ より激しい降雨	●警戒レベル3 大雨洪水警報等 避難準備 高齢者等避難開始(市発令の避難情報)	●避難のタイミング・避難先(早期避難しなかった場合) 高齢者、障がい者、妊娠中など、避難に時間を要する方が避難(遅くともこのタイミングで避難) どんな情報・状況をきっかけに
災害のおそれの高まり	●警戒レベル4 土砂災害警戒情報 避難勧告(市発令の避難情報) ●警戒レベル4 避難指示(緊急)(市発令の避難情報)	●避難のタイミング・避難先(早期避難しなかった場合) 全員が避難(遅くともこのタイミングで避難) どんな情報をきっかけに
災害発生	●警戒レベル5 大雨特別警報 災害発生情報(市発令の避難情報)	●逃げ遅れた場合の避難 そのときの状況で最も安全と思われる場所で身『いのち』を守る

非常持ち出し品の準備

大雨時に避難する場合は、持ち出す荷物を最小限に留め、リュックサックを使用するなど、両手が自由に使えるようにしましょう。

非常持ち出し袋に入れておくもの	家族構成によって必要なもの	避難時の必需品
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー <input type="checkbox"/> 懐中電灯(予備の電池も) <input type="checkbox"/> ろうそく (太くて安定のよいもの) <input type="checkbox"/> 救急薬品 (ばんそうこう、カーゼ、包帯、三角巾、備用消毒薬、解熱剤、胃腸薬、かぜ薬、目薬など)	例:常備薬など <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> あると便利なもの <input type="checkbox"/> 毛布・寝袋 <input type="checkbox"/> 割りばし <input type="checkbox"/> カセットコンロ <input type="checkbox"/> 床に敷くシート <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> スリッパ	<input type="checkbox"/> 雨具(カッパ) <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> ヘルメット(防災ずきん) <input type="checkbox"/> ハザードマップ <input type="checkbox"/> 貴重品 (通帳、健康保険証、免許証など) <input type="checkbox"/> 現金(公衆電話用の10円硬貨も) <input type="checkbox"/>

● 事前に準備しておくことや避難する際の注意点を整理しておきましょう。

● 家族の会社、学校などを記入しておきましょう。

家族データ

名前	電話番号	備考



『いのち』を守るために

新城市の84%は、三河山間部を形成する豊かな森林に覆われ、東三河一帯の水源地の役割を果たしています。しかし、自然環境が豊かであるがゆえに、市内には土砂災害が発生するおそれのある場所が数多くあります。この土砂災害ハザードマップは、そういった危険がある場所として指定された土砂災害警戒区域などを地図上に示したものです。あらかじめ危険な場所を確認し、避難方法を考えておきましょう。

土砂災害ハザードマップ

新城地区

目次

土砂災害の種類	①
土砂災害防止法とは?	①
土砂災害の前兆現象	②
土砂災害から『いのち』を守る①	②
土砂災害から『いのち』を守る②	③
気象情報に伴う行動の目安	④
災害が発生する前に	④
我が家のタイムラインの作成	⑤
ハザードマップの活用	⑥
避難所一覧<新城地区>	⑦
愛知県統合型地理情報システム「マップあいち」土砂災害情報マップ	⑦
土砂災害ハザードマップ図割<新城地区>	⑧
土砂災害ハザードマップ	⑨-④⑥
我が家のタイムライン作成表	④⑦

土砂災害の種類

土砂災害は、急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）、土石流、地すべりの3種類があり、こういった土砂移動現象の発生により被害を受けることを土砂災害といいます。実際の災害では、これらが複合して発生することも多くあります。



急傾斜地の崩壊
急な斜面（がけ）が突然崩れ落ちる現象です。大雨や地震が引き金になって起こります。



土石流
大雨などで山の斜面が崩れたり谷底にたまった土砂が流れ出したりしたときに水と土砂が混じりあってもすごい勢いで谷から流れ出す現象です。

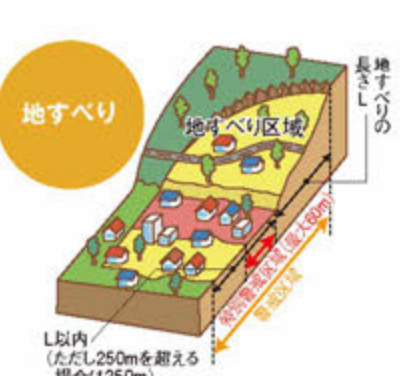
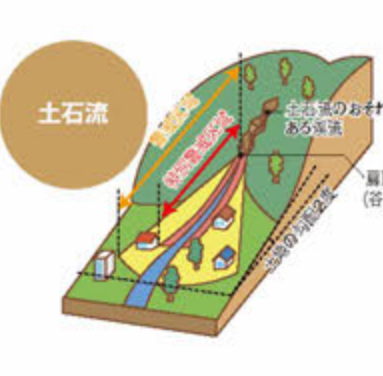
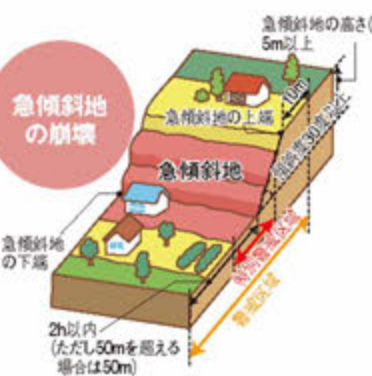


地すべり
山や斜面の一部が、ある程度原形を保ったままゆっくりと下方に移動する現象です。降雨や融雪による地下水位の上昇、人為的な地形改変などによって起こります。

土砂災害防止法とは？

「土砂災害防止法（平成13年4月1日施行）※」とは、土砂災害（がけ崩れ、土石流、地すべり）から住民の方々の生命を守るため、土砂災害のおそれのある区域についての危険の周知、警戒避難体制の整備、住宅等の新規立地の抑制、既存住宅の移転の促進、避難のための情報の提供等のソフト対策を推進するものです。

※正式名称：土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律



土砂災害警戒区域
土砂災害のおそれのある区域（イエローゾーン）

土砂災害特別警戒区域
土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれのある区域（レッドゾーン）

- ◆警戒避難体制の整備
土砂災害から生命及び身体を守るため、災害情報の伝達や避難が早くできるように警戒避難体制の整備が図られます。【市町村】
- ◆建築物の構造規制
居室を有する建築物は、作用すると想定される衝撃等に対して建築物の構造が安全であるかどうか建築確認がされます。【建築主事を置く地方公共団体等】
- ◆特定の開発行為に対する許可制
住宅地分譲や要配慮者利用施設の建築のための開発行為は、基準に従ったものに限って許可されます。【都道府県】
- ◆建築物の移転勧告
著しい損壊が生じるおそれのある建築物の所有者等に対し、移転等の勧告が図られます。【都道府県】

注：土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域は、愛知県が調査指定したものです。

土砂災害の前兆現象

このような前兆と思われる現象を確認した場合は注意しましょう。

	急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）	土石流	地すべり
視覚	<ul style="list-style-type: none"> がけに割れ目が見える。 がけから小石がバラバラと落ちる。 斜面がほろみだす。 がけから水が噴き出す。 湧水が濁り出す。 樹木が傾く。 	<ul style="list-style-type: none"> 溪流付近の斜面が崩れだす。 落石が生じる。 川の水が異常に濁る。 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。 土砂の流出。 流水に流木が混じりだす。 溪流の中で火花が散る（溪流内で石同士や木が衝突）。 	<ul style="list-style-type: none"> 地面にひび割れができる。 地面の一部が落ち込んだり盛り上がりたりする。 沢や井戸の水が濁る。 斜面から水が噴き出す。 池や沼の水かさが急減する。 樹木が傾く。 家や擁壁に亀裂が入る。 擁壁や電柱が傾く。
音	<ul style="list-style-type: none"> 樹木の根が切れる音がある。 樹木の揺れる音がある。 地鳴りがする。 	<ul style="list-style-type: none"> 地鳴りがする。 山鳴りがする。 転石のぶつかり合う音。 	<ul style="list-style-type: none"> 樹木の根が切れる音がある。
におい		<ul style="list-style-type: none"> 腐った土のにおいがする。 	

土砂災害から「いのち」を守る①

近年、日本では、急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）、土石流、地すべりといった土砂災害など、生活や生命が脅かされるような災害が度々発生しています。

土砂災害から住民の「いのち」を守るために、えん堤や擁壁の整備が進められてきました。しかし、多くの危険箇所を整備するには、多くの費用と時間を必要とすることから、土砂災害から「いのち」を守るためには、身近にある危険を知り、適切に避難する対策が重要となります。

大規模な災害が発生した場合、行政による救助や支援は、すぐには行き届かないため、自助・共助が重要となります。

自助 自分の「いのち」は自分で守る！

災害時の安否確認方法

- 災害時には、安否確認などによる電話が増加し、電話が繋がりにくい状況となることがあります。電話会社・携帯電話会社による災害用伝言ダイヤル「171」や災害用伝言板「web171」などの方法を確認しておきましょう。



避難方法の確認

- 家族で避難先、避難方法を事前に確認しましょう。できれば下見を行い、避難する際に注意が必要な箇所を把握しておきましょう。すぐに避難が難しい場合は、自宅の山の斜面に面していない部屋や2階への避難をしましょう。
- 親戚宅や友人宅への避難も検討しましょう。



非常持ち出し品の確認

- 必要な物がそろっているか確認しましょう。期限を確認し、新しいものと取り替えてみましょう。



自宅周辺など危険を確認

- ハザードマップやインターネットなどを用いて、自宅周辺で土砂災害や浸水のおそれのある場所を確認しておきましょう。



共助 地域で協力して「いのち」を守る！

協力して避難

- 避難する時は、近所で声をかけあって、避難しましょう。高齢の方、障がいのある方などの「災害時要援護者」が早めに避難できるよう地域で協力しましょう。危険を感じる場合は、公民館や知人宅など、協力した避難を検討しましょう。



土砂災害から「いのち」を守る②

気象・避難に関する情報

次のような様々な方法で情報を得ることができます。

新城市ホームページ

<https://www.city.shinshiro.lg.jp/>

気象警報が発表された場合などにトップページに表示される「緊急情報」から情報を確認することができます。



防災行政無線

戸別受信機で気象警報や避難、災害対策に関する情報を放送します。

※戸別受信機は世帯及び事業所に各1台を貸与します。



新城市メール配信システム

風水害、地震などに関する情報が市からメールにより配信されます。

※記載のQRコードからアクセス又は「t-shinshiro@sg-m.jp」に空メールを送信して登録してください。



緊急速報メール (エリアメール)

土砂災害警戒情報や緊急地震速報などが市内で発表された場合に、その場所にいる方の携帯電話、スマートフォンに情報が配信されます。

登録は不要ですが、一部対応していない場合があります。

データ放送

地デジ対応のテレビ又はチューナーのリモコンにある「dボタン」を押すと、気象状況や避難、災害対策に関する情報が確認できます。



愛知県土砂災害警戒情報

<http://www.sabo.pref.aichi.jp/>

土砂災害警戒情報は、土砂災害による被害の防止・軽減のため、大雨警報を発表している中で、土砂災害の発生のおそれが高まった時に発表される情報です。市が避難勧告を発令する目安としています。



気象庁ホームページ


<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

日常の天気予報のほか、台風、大雨などの気象情報や土砂災害情報などを確認することができます。



災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤルは、電話番号宛に情報を音声で録音し、その音声を再生することにより安否確認ができるサービスです。災害時には電話が繋がりにくくなりますので、災害用伝言ダイヤルを利用しましょう。携帯電話番号でも利用できます。



録音の場合は **171** + 自宅の電話番号 (電話番号は市外番号から)

再生の場合は **2** + 再生先の電話番号 (電話番号は市外番号から)

気象情報に伴う行動の目安

台風が近づいているとき、長時間雨が降り続いたときなどは、土砂災害や低い土地の浸水、河川が氾濫する危険があります。警戒レベル、気象情報に応じたとるべき行動（避難行動）の目安は次のとおりです。

警戒レベル	1	2	3	4	5
気象情報	<ul style="list-style-type: none"> 早期注意情報 (警報級の可能性) 	<ul style="list-style-type: none"> 氾濫注意情報 大雨注意報 洪水注意報 土砂災害危険度分布 (注意「黄」) 	<ul style="list-style-type: none"> 大雨警報 (土砂災害) 洪水警報 氾濫警戒情報 土砂災害危険度分布 (警戒「赤」) 	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 土砂災害危険度分布 (非常に危険、極めて危険「紫」) 	<ul style="list-style-type: none"> 大雨特別警報 氾濫発生情報
とるべき行動	<p>災害への心構えを高めましょう。</p>	<p>避難行動の確認が必要とされる警戒レベル2です。ハザードマップ等により、災害が想定されている区域や避難先、避難経路を確認してください。</p>	<p>新城市が避難準備・高齢者等避難開始を発令する目安となる情報です。高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル3に相当します。災害が想定されている区域等では、避難準備・高齢者等避難開始の発令に留意するとともに、危険度分布等を用いて高齢者等の方は自ら避難の判断をしてください。</p>	<p>新城市が避難勧告、避難指示(緊急)を発令する目安となる情報です。避難が必要とされる警戒レベル4に相当します。災害が想定されている区域等では、避難勧告の発令に留意するとともに、避難勧告が発令されていなくても危険度分布等を用いて自ら避難の判断をしてください。</p>	<p>災害がすでに発生していることを示す警戒レベル5に相当します。何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況となっています。命を守るための最善の行動をとってください。</p>

災害が発生する前に

自分の「いのち」は自分で守るために、事前に対策をしておきましょう。

避難先を決めましょう!

- 市の指定避難所ではなくても避難できるよう、親戚宅や友人宅、地区の集会施設なども検討し、あらかじめ避難先を決めておきましょう。



危険箇所を確認しましょう!

- 自宅周辺や避難経路上の危険箇所を把握しましょう。



前兆現象に注意しましょう!

- 土砂災害の前兆と思われる現象を確認した場合は、近づかないようにし、周辺の住民の方と避難しましょう。(P.2土砂災害の前兆現象)



雨量に注意しましょう!

- 1時間20ミリ以上、または降り始めてから100ミリ以上の降雨量になったら十分注意しましょう。



逃げ方に注意しましょう!

- 土石流は速度が速いため、土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。



協力して避難しましょう!

- 高齢者や障がい者など、避難に支援が必要な方が地域にいる場合は、みんなで協力しましょう。



我が家のタイムラインの作成

台風や大雨など、気象による災害が予想される場合は、情報を事前に入手して日が暮れる前に避難するなど、早めの行動が大切となります。

避難のタイミングは自宅周辺や気象の状況により、人それぞれ違います。適切な避難行動ができるよう「我が家のタイムライン」を作成しましょう。（「我が家のタイムライン作成表」は最終ページにあります。）

※タイムラインとは、台風や大雨、豪雨などの災害に備えて、一人ひとりのために作成するものです。時系列で「いつ」「誰が」「何を」かを決めておきましょう。

我が家のタイムライン作成表

作成年月日 年 月 日

平常時	気象・避難情報	避難の準備・確認
大雨発生の可能性	●警戒レベル1 早期注意情報	●避難先・避難経路の確認 ハザードマップや作成したタイムラインで避難のタイミング・避難先・避難経路を確認
大雨のおそれ	●警戒レベル2 大雨注意情報	●情報収集 テレビやインターネットなどで気象情報、台風の進路、暴風の可能性について確認（P3参照） ●避難のタイミング・避難先 気象から判断して台風や大雨の予想が出ている場合は、日が暮れる前に早めに避難（早期避難） どんな情報・状況を見つけたら 気象庁発表の避難情報（気象庁発表のP2参照） 避難先 ●●宅へ避難 ●●中学校
災害発生のおそれ	●警戒レベル3 大雨洪水警報等 避難準備 高齢者等避難開始（気象庁の避難情報）	●避難のタイミング・避難先（早期避難しなかった場合） 高齢者、障がい者、妊婦中など、避難に時間を要する方が避難（遅くてもこのタイミングで避難） どんな情報・状況を見つけたら 気象庁発表の避難情報（気象庁発表のP2参照） 避難先 ●●中学校 ●●宅への避難
より激しい降雨	●警戒レベル4 土砂災害警戒情報 避難勧告（気象庁の避難情報）	●避難のタイミング・避難先（早期避難しなかった場合） 全員が避難（遅くてもこのタイミングで避難） どんな情報・状況を見つけたら 防災行政無線、スマートフォンなどで避難情報を確認 避難先 ●●中学校 ●●宅への避難
災害のおそれの高まり	●警戒レベル4 避難指示（緊急）（気象庁の避難情報）	●避難のタイミング・避難先（早期避難しなかった場合） 全員が避難（遅くてもこのタイミングで避難） どんな情報・状況を見つけたら 防災行政無線、スマートフォンなどで避難情報を確認 避難先 ●●中学校 ●●宅への避難
災害発生	●警戒レベル5 大雨特別警報 災害発生情報（気象庁の避難情報）	●逃げ遅れた場合の避難 そのときの状況でも安全と思われる場所で身「いのち」を守る 避難先 山の斜面から離れた部屋、2階へ避難 避難先 山に倒木が倒れたら、速に避難

非常持ち出し品の準備

大雨時に避難する場合は、持ち出し品を専用のリュックサックを使用するなど、高さが自由に調節できるようにしましょう。

非常持ち出し袋に入れておくもの	家族構成によって必要なもの	避難時の必需品
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー <input type="checkbox"/> 懐中電灯（予備の電池も） <input type="checkbox"/> ろうそく <input type="checkbox"/> 水（太くて安定のよいもの） <input type="checkbox"/> 緊急用品 ばんそうこう、カーゼ、各部、三角巾、備用消毒液、殺菌剤、胃腸薬、かぜ薬、百薬など	飲料水・非常食（カンパンなど） 生活用品 ライター、ナイフ、ティッシュ ペーパー、ビニール袋など 衣服 下着、上着、手袋、靴下、ハンカチ、タオルなど 顔拭きタオル マスク・手指用消毒液など	<input type="checkbox"/> 雨具（カッパ） <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> ヘルメット（防災ずきん） <input type="checkbox"/> ハザードマップ <input type="checkbox"/> 貴重品 （通帳、健康保険証、免許証など） 現金（公共電器用の1万円硬貨も）

●事前に準備しておくことや避難する際の注意点を整理しておきましょう。

- 毎月1日に非常持ち出し品を確認する。
- 避難行動について近隣住民とお話しをする。
- 災害に備え、事前に車の燃料を満タンにする。
- 携帯電話の充電をする。

●家族の会社、学校などを記入しておきましょう。

家族データ

名前	電話番号	備考
新城 太郎	0536-12-3456	●●会社
新城 花子	0536-45-6789	
新城 一郎	0536-56-7890	●●学校

発行 新城市

ハザードマップの活用

事前にハザードマップへ避難方法を記入しておきましょう。

【記入例】

- 自宅位置の記入
- 最寄り避難所の記入
- 土砂災害等の危険性がある地点の記入
- 避難経路の記入
▲印のことに気を付けましょう。

過去にけがけ崩れ
過去に浸水あり
橋の横断に注意

凡例

- 土砂災害特別警戒区域
- 急傾斜地
- 土砂災害警戒区域
- 急傾斜地
- 土石流
- 土石流
- 地すべり
- 指定避難所
- 防災倉庫
- 雨量観測局
- ヘリポート
- 警察署
- 消防署
- 郵便局
- 道の駅

※「過去にけがけ崩れ」「過去に浸水あり」「橋の横断に注意」など危険の可能性のある場所の記載は、あくまでも記入例であるために実際とは異なります。

- 自宅位置を記入しましょう。
- 最寄りの避難所がどこになるか記入しましょう。
- 過去に土砂崩れや浸水などのあった地点や避難時危険となる地点を記入しましょう。
- 避難経路を設定しましょう。

避難経路の設定には、次のことに気を付けましょう。

- ▲ 土砂災害、洪水、浸水、倒木などの危険性がある場所を避ける。
- ▲ 土砂災害は豪雨時に、水害とともに発生することが考えられます。避難経路の設定の際には、水位が高くなると考えられる河川の橋梁や水没しやすいアンダーパス、危険な用水路等を避けて設定しましょう。

避難所一覧 <新城地区>

指定避難所

避難所	住所	図割番号
新城高等学校 (R3.4.1より新城有教館高等学校に名称変更予定)	字桜淵・中野合併地	12
新城中学校	字滝ノ上1	12
新城小学校	字西入船76	12
千郷小学校	杉山字前野4-1	11
千郷中学校	杉山字道目記24	11
千郷西こども園	豊島字馬渡11-2	11 14
西部公民館	杉山字道目記24	11
東郷西小学校	平井字東原37-1	8
新城東高等学校 (R3.4.1 廃止予定)	矢部字広見100	8
東郷中学校	竹広字宮川162-2	8
東郷東小学校	八東穂字四反田402-2	4 5 8 9
舟着小学校	日吉字小袋13	8 12
吉川公民館	吉川字上林55-1	13
八名小学校	富岡字半ノ木15-1	15
八名中学校	富岡字萩平野3	15
庭野小学校	庭野字川大田33	12

愛知県統合型地理情報システム 「マップあいち」土砂災害情報マップ

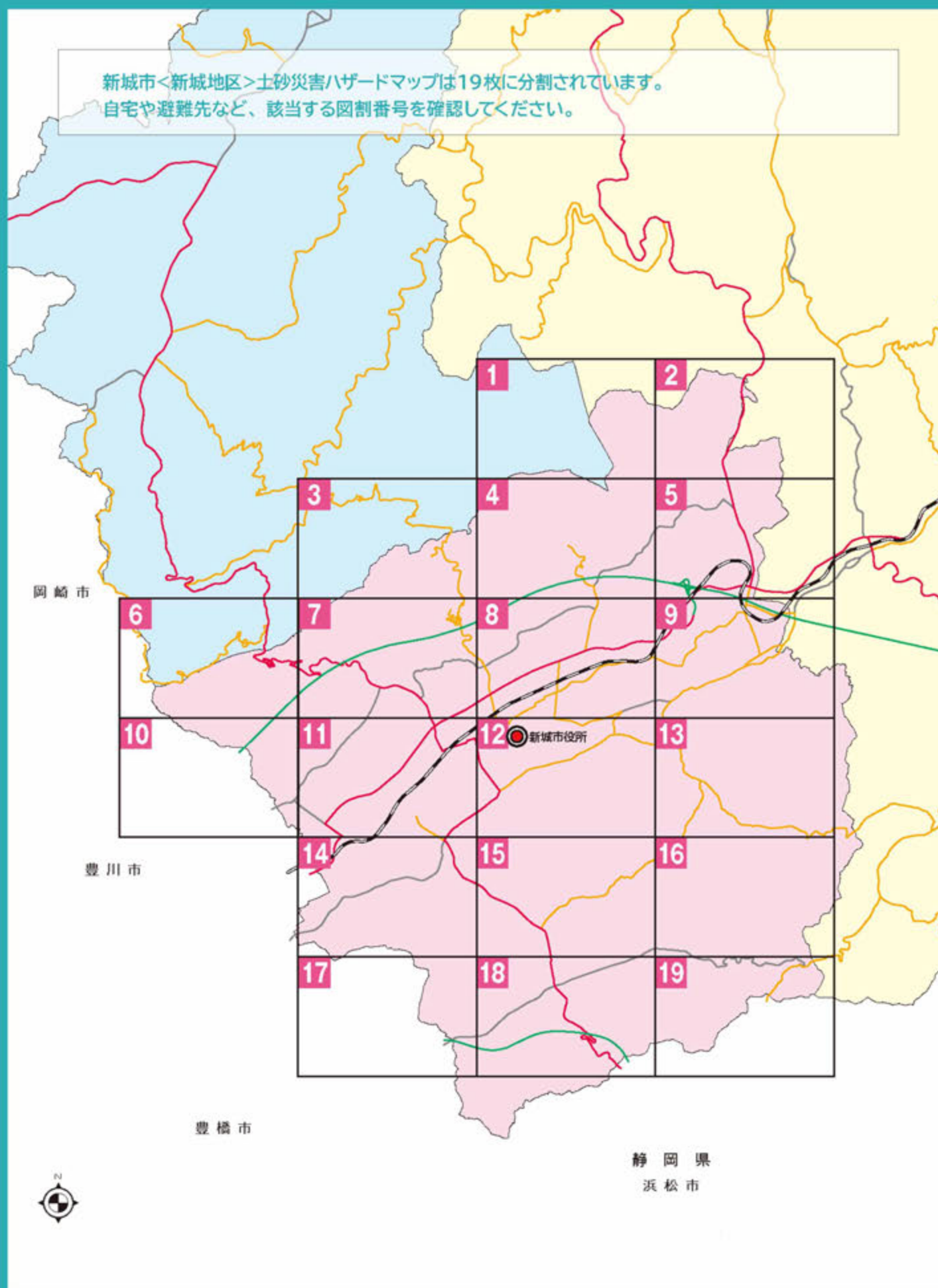
<https://maps.pref.aichi.jp/>

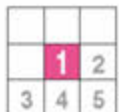
電子地図で表示することにより、土砂災害(特別)警戒区域をより詳細に確認することができます。



土砂災害ハザードマップ図割 <新城地区>

新城市<新城地区>土砂災害ハザードマップは19枚に分割されています。
自宅や避難先など、該当する図割番号を確認してください。





土砂災害凡例

土砂災害特別警戒区域

急傾斜地

土石流

土砂災害警戒区域

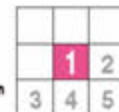
急傾斜地

土石流

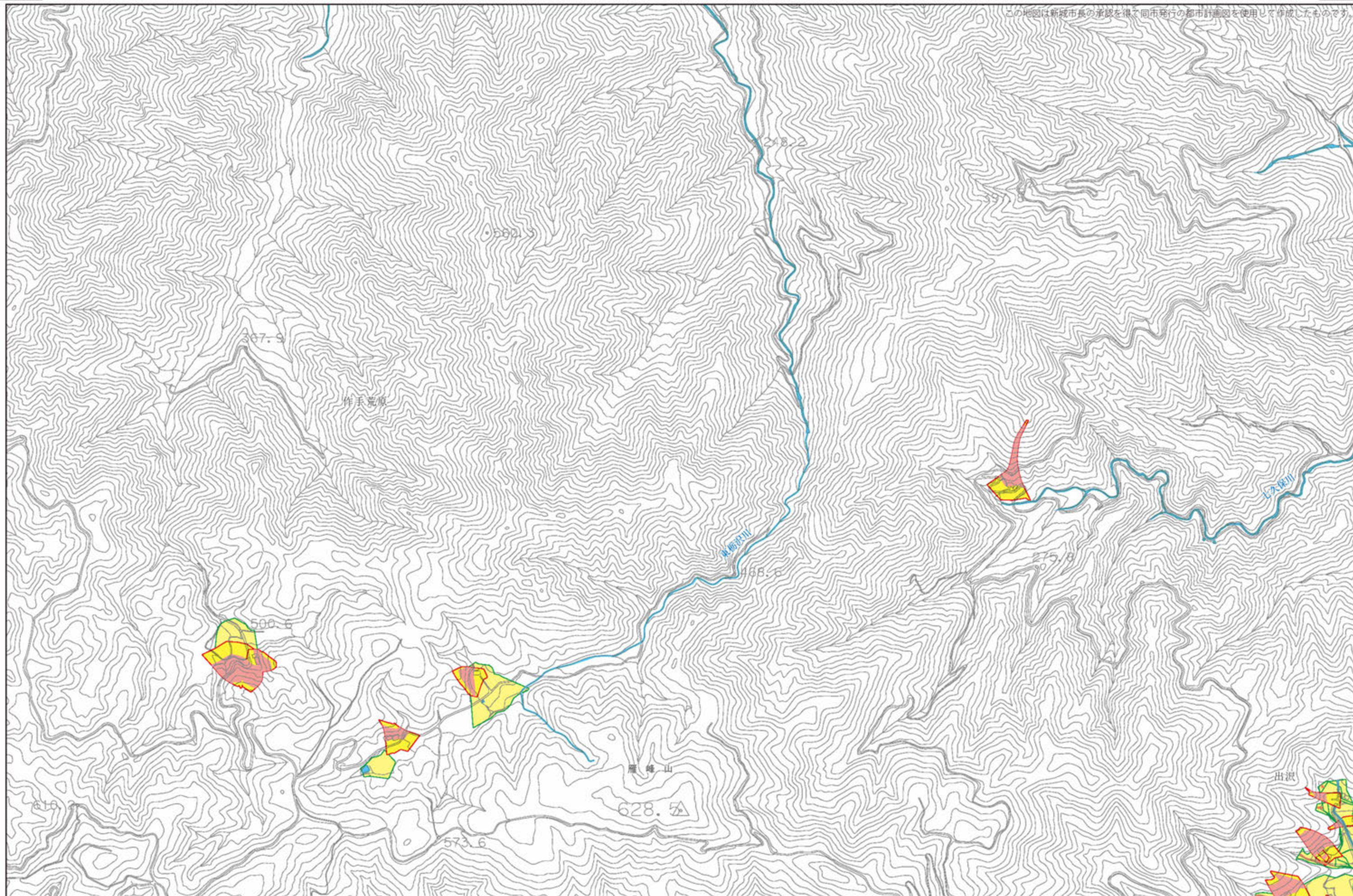
地すべり

1:10,000

0 100 500m



この地図は新城市長の承認を得て同市発行の都市計画図を使用して作成したものです。



凡例(避難所)

指定避難所

凡例(道路)

国道

県道

高速道路

凡例(その他施設)

ヘリポート

消防署

郵便局

警察署

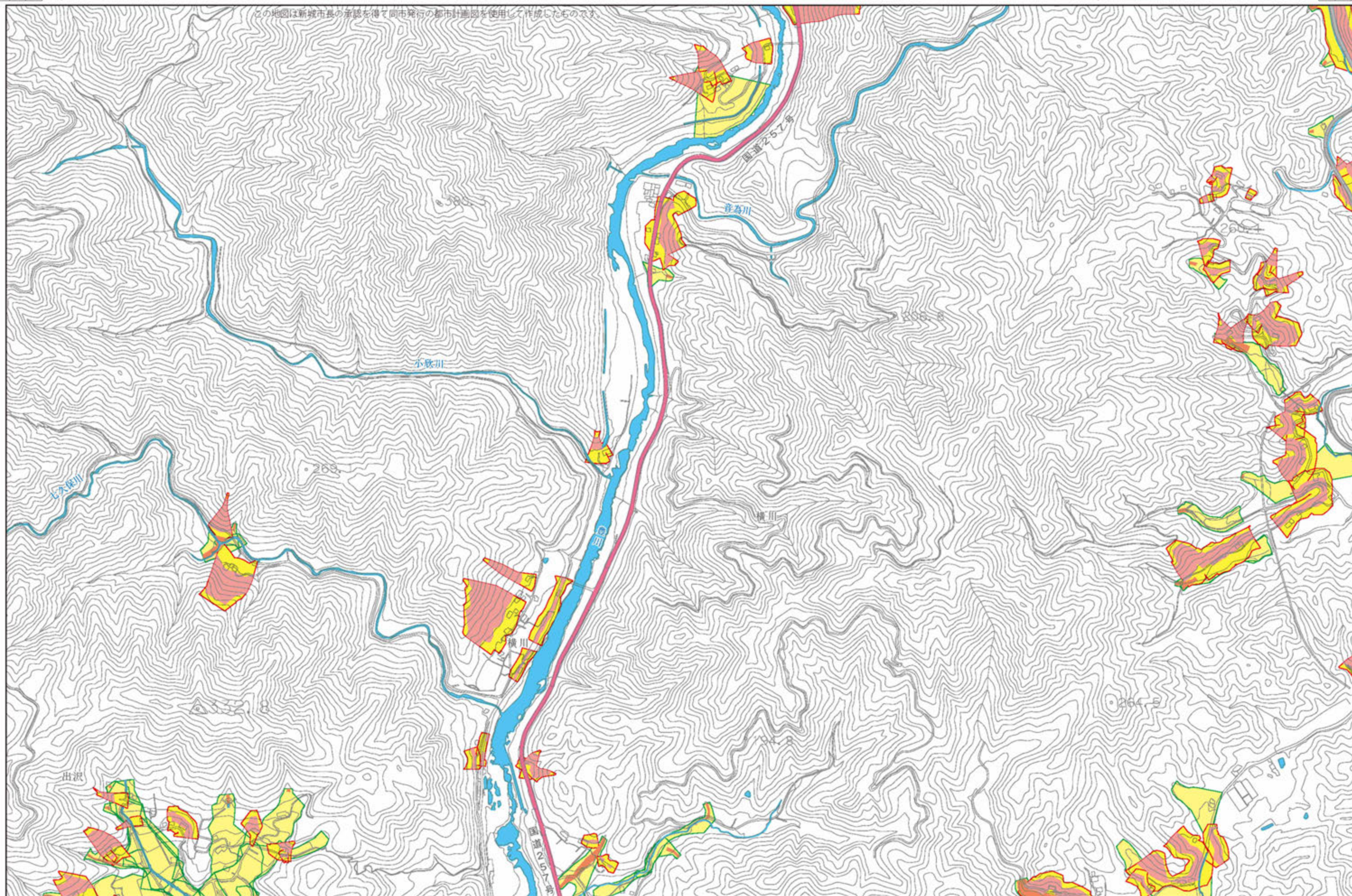
防災倉庫

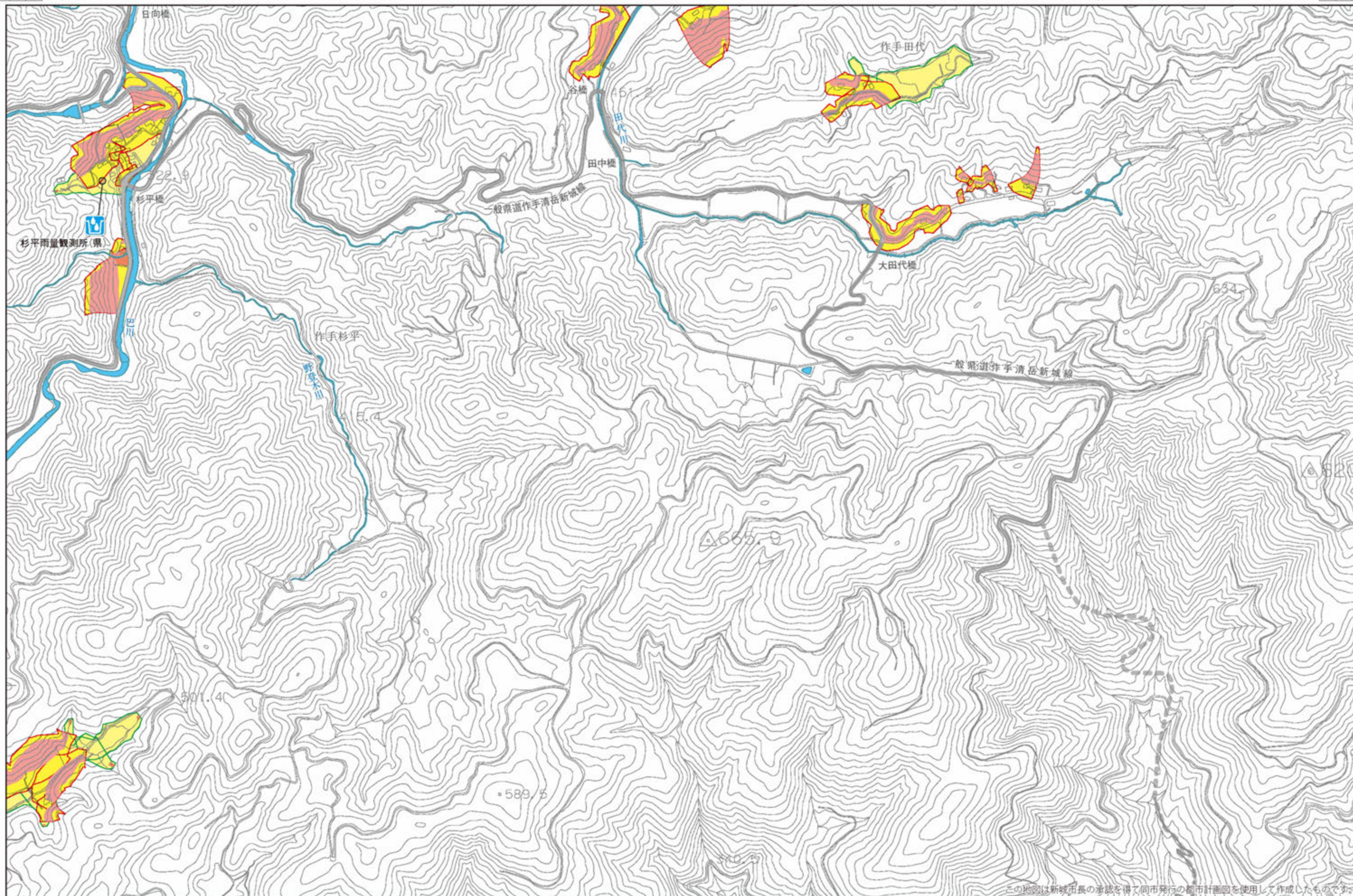
雨量観測局

道の駅

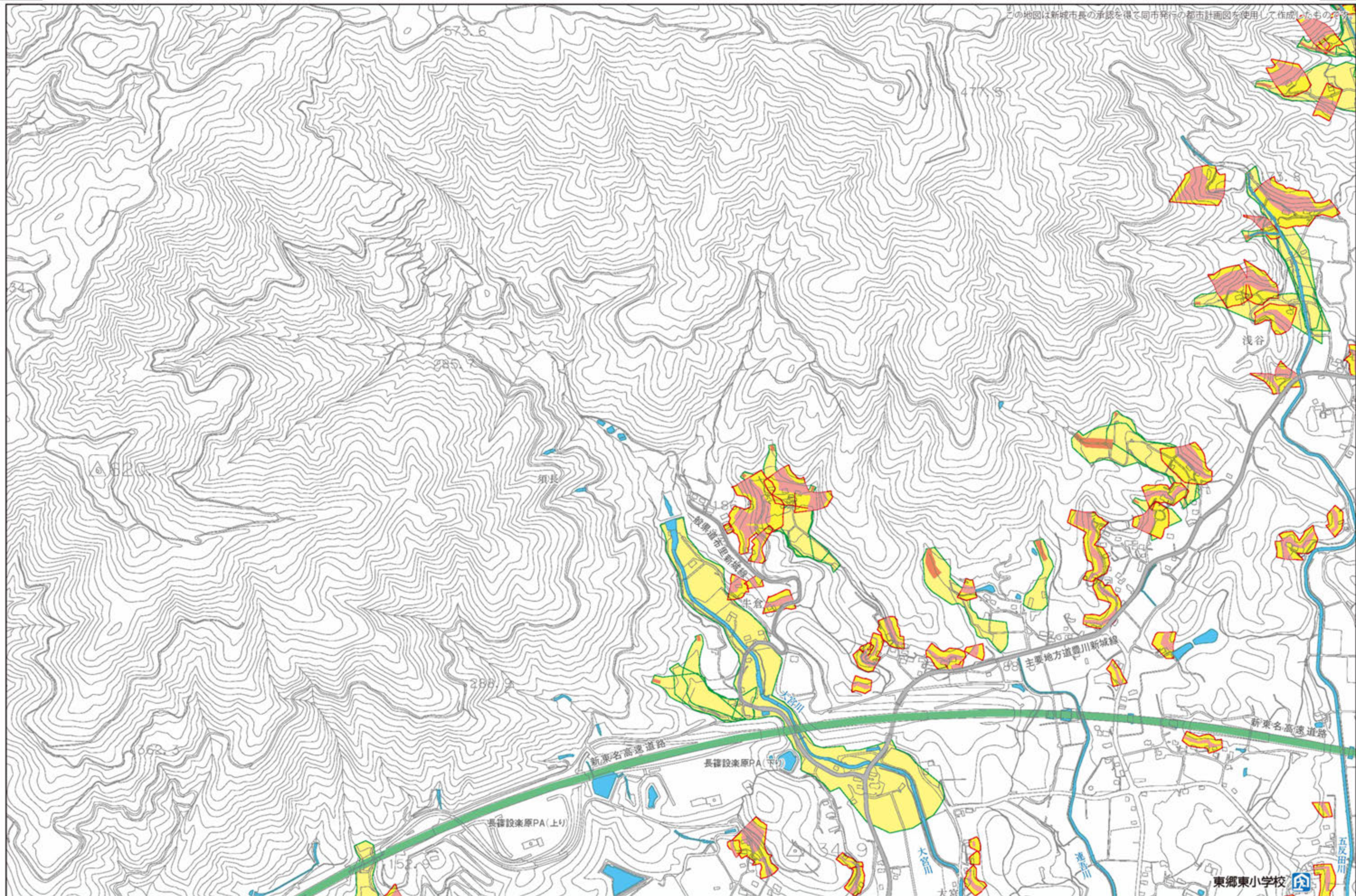


この地図は新城市長の承認を得て同市発行の都市計画図を使用して作成したものです。





この地図は新城市長の承認を得て同市発行の都市計画図を使用して作成したものです。

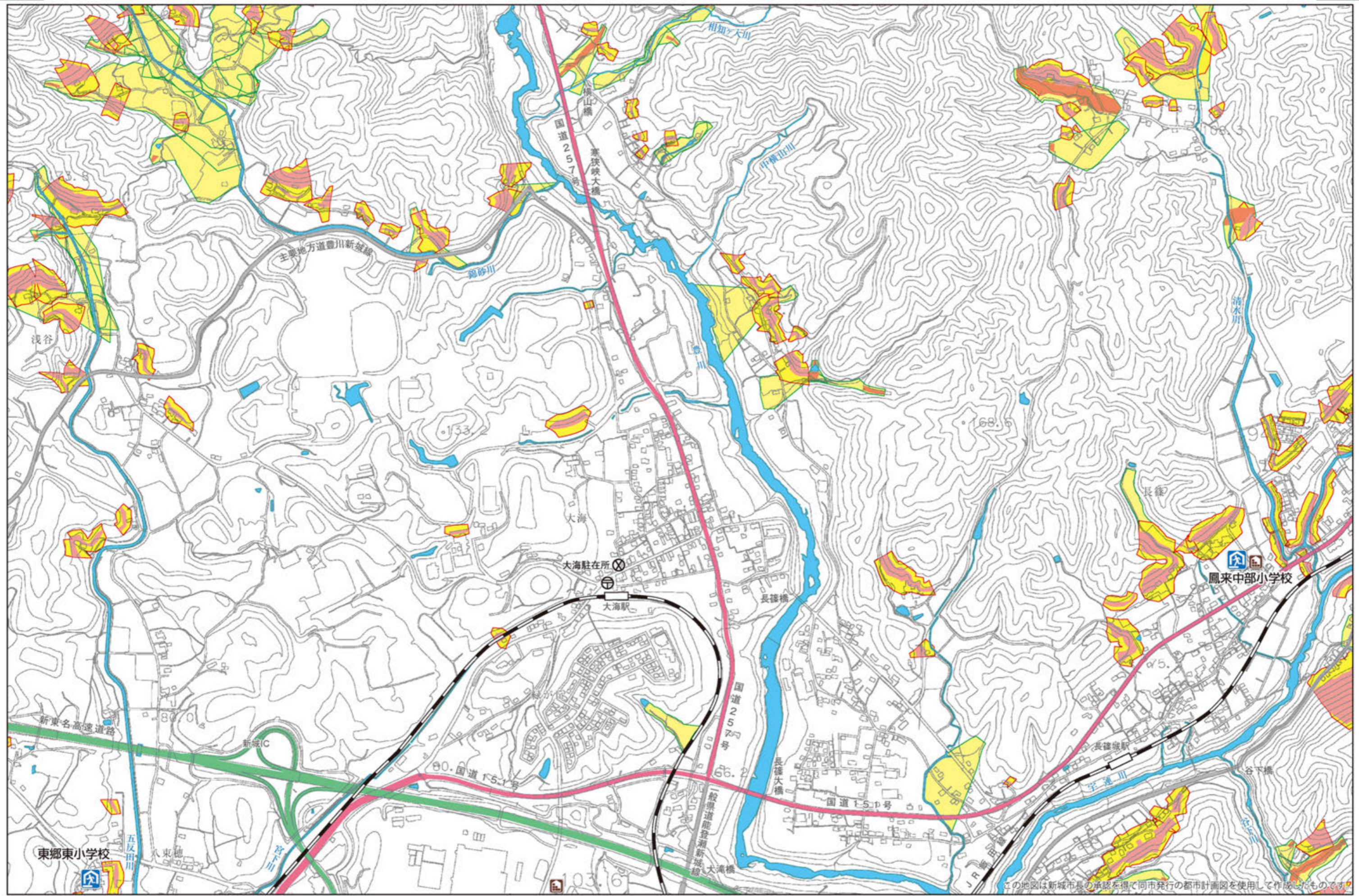


この地図は新城市長の承認を得て同市発行の都市計画図を使用して作成したものである。

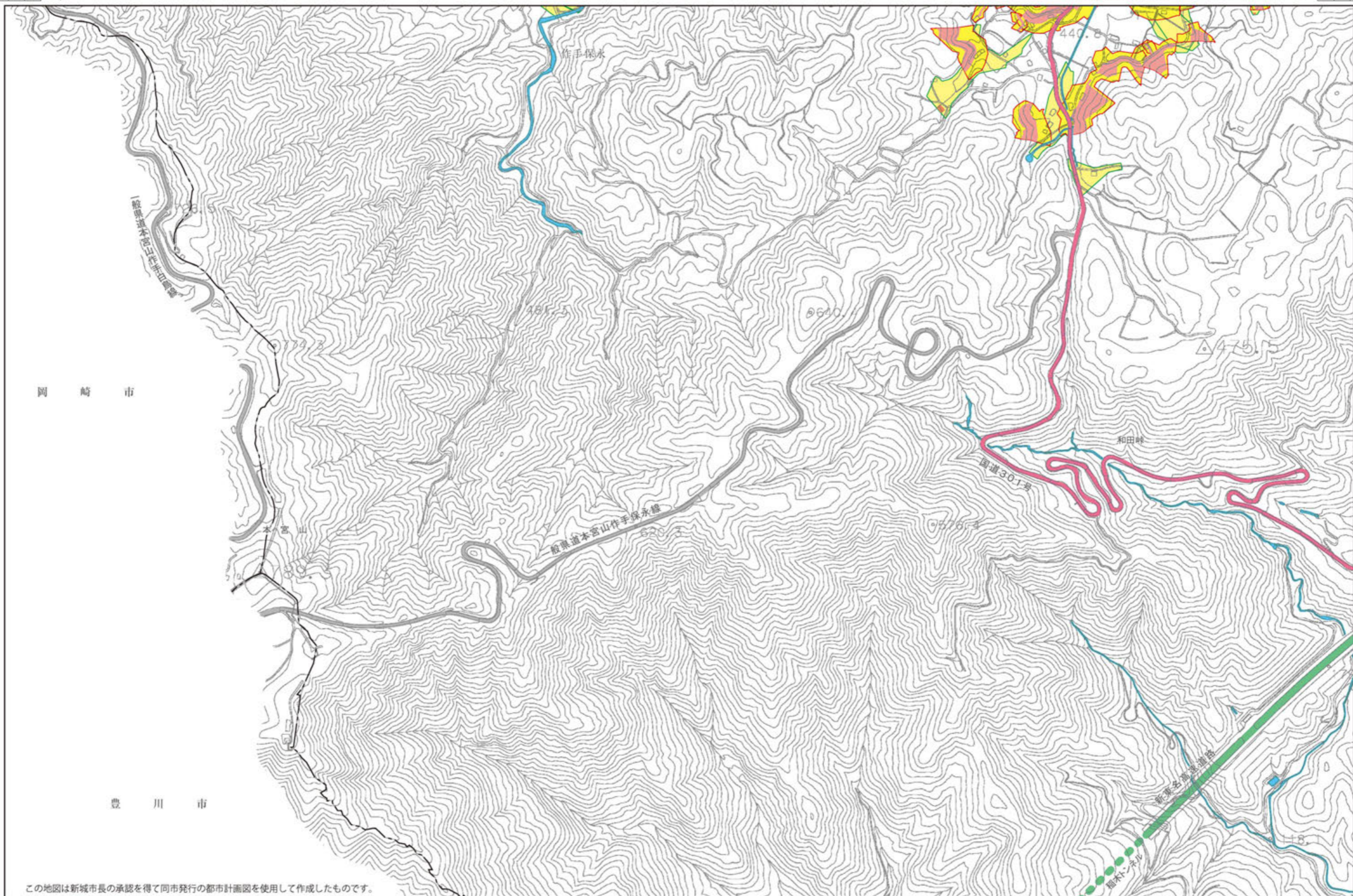


土砂災害凡例 土砂災害特別警戒区域 急傾斜地 土石流 土砂災害警戒区域 急傾斜地 土石流 地すべり

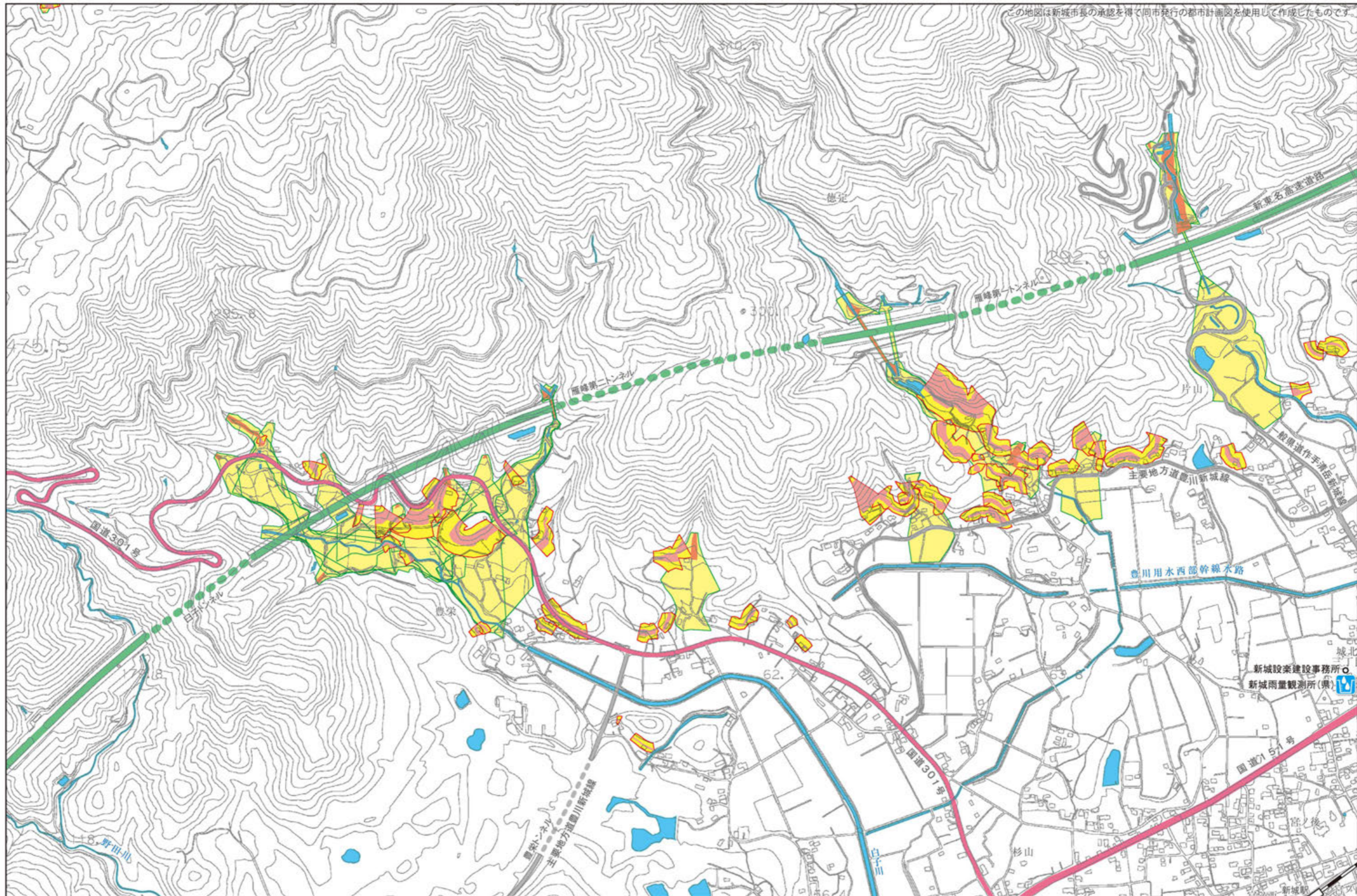
1:10,000 0 100 500m



この地図は新城市長の承認を得て同市発行の都市計画図を使用して作成したものです



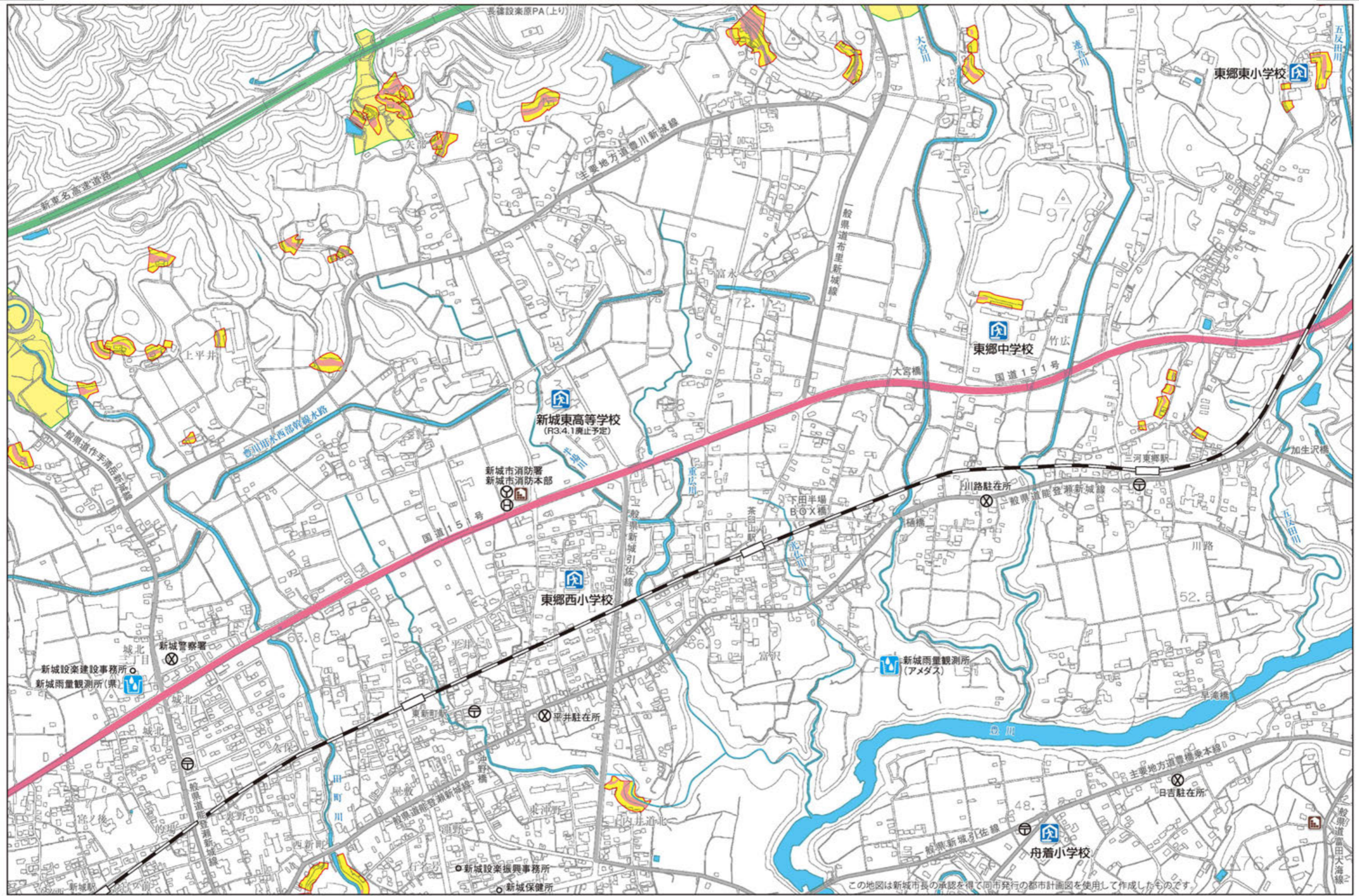
この地図は新城市長の承認を得て同市発行の都市計画図を使用して作成したものです。



この地図は新城市長の承認を得て同市発行の都市計画図を使用して作成したものです。

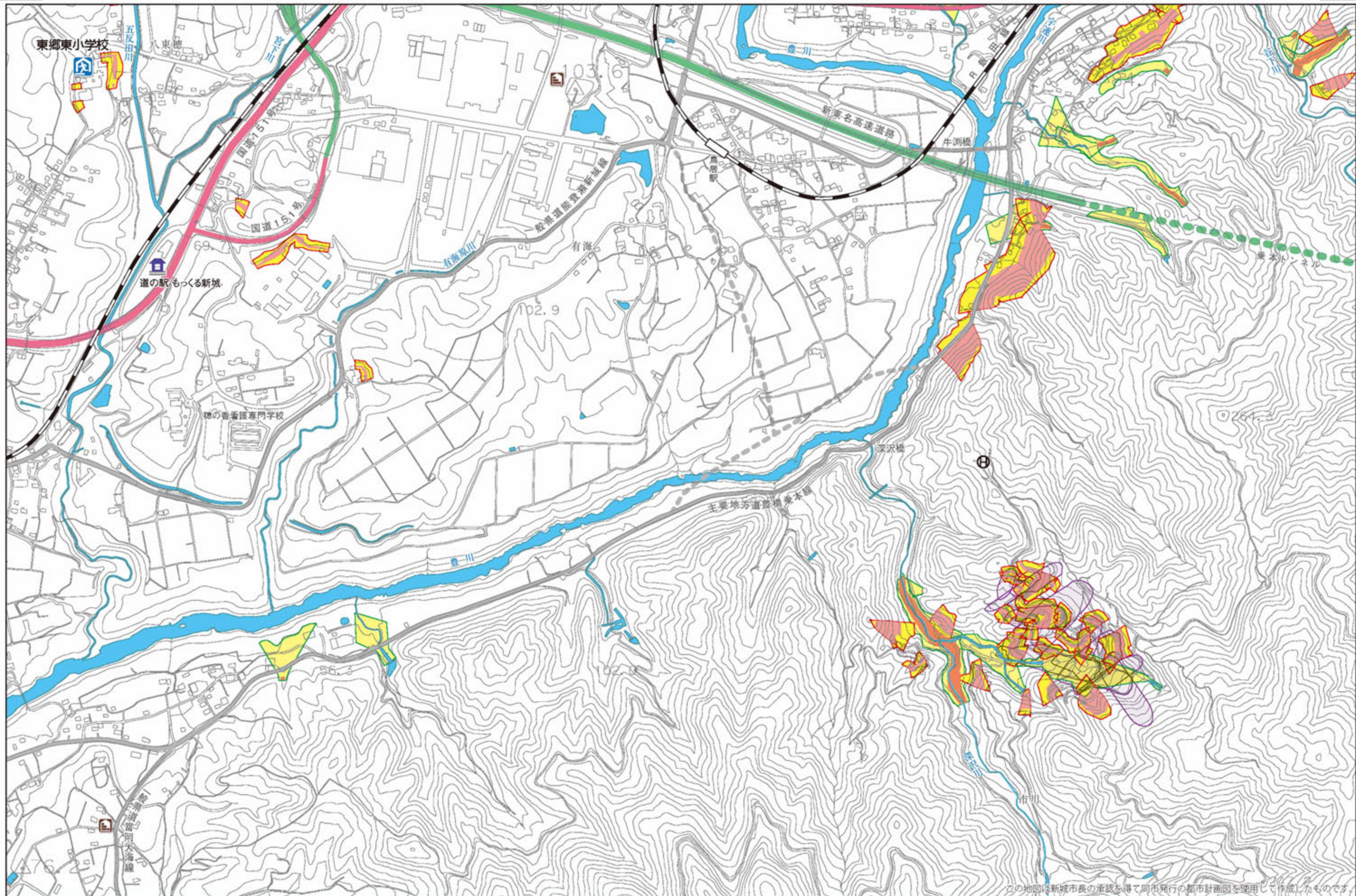
土砂災害凡例 土砂災害特別警戒区域 急傾斜地 土石流 土砂災害警戒区域 急傾斜地 土石流 地すべり

1:10,000 0 100 500m

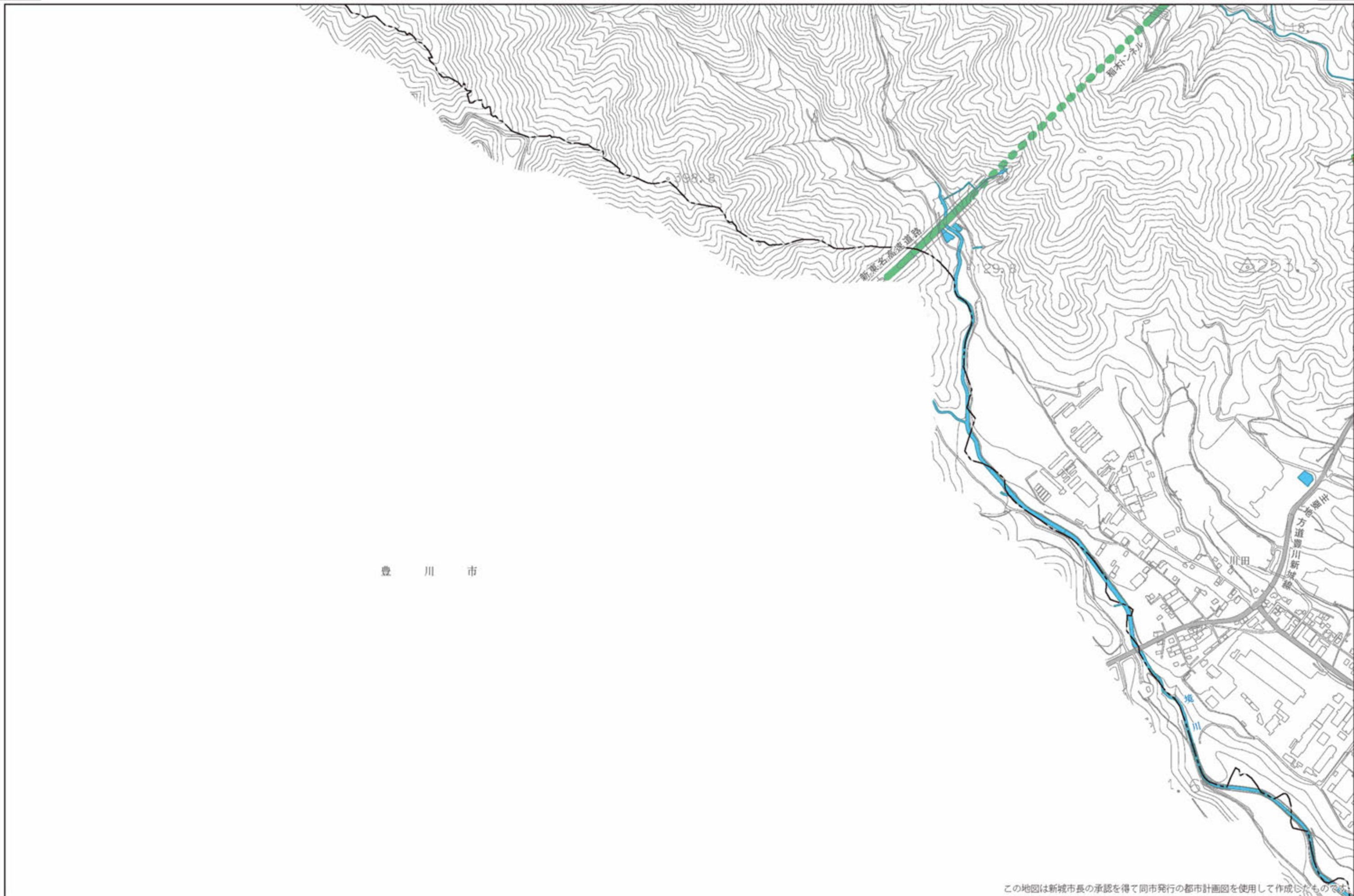


この地図は新城市長の承認を得て同市発行の都市計画図を使用して作成したものです。

凡例(避難所) 指定避難所 凡例(道路) 国道 県道 高速道路 凡例(その他施設) ヘリポート 消防署 郵便局 警察署 防災倉庫 雨量観測局 道の駅



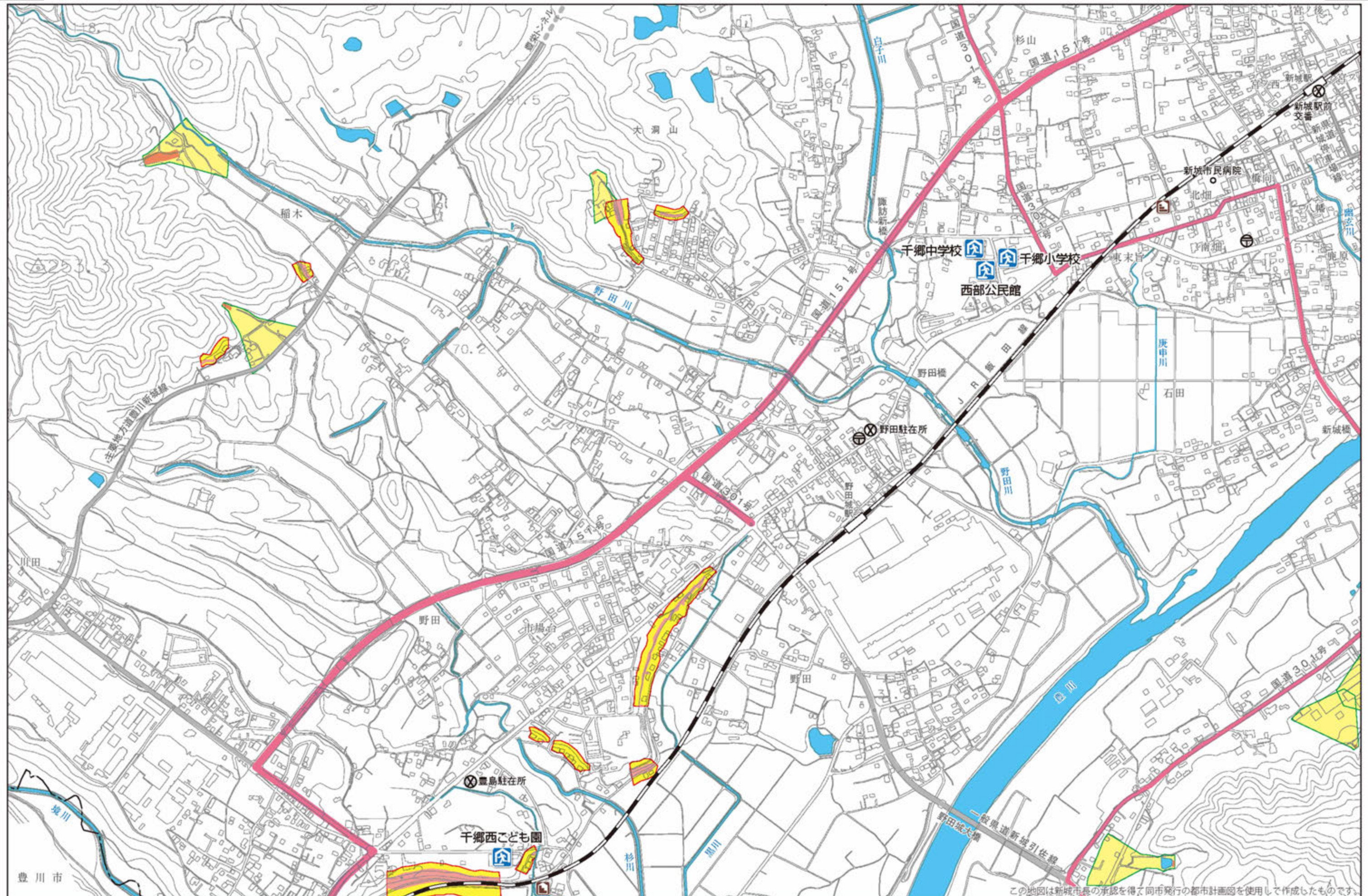
この地図は新城市長の承認を得て同市発行の都市計画図を使用して作成したものです。



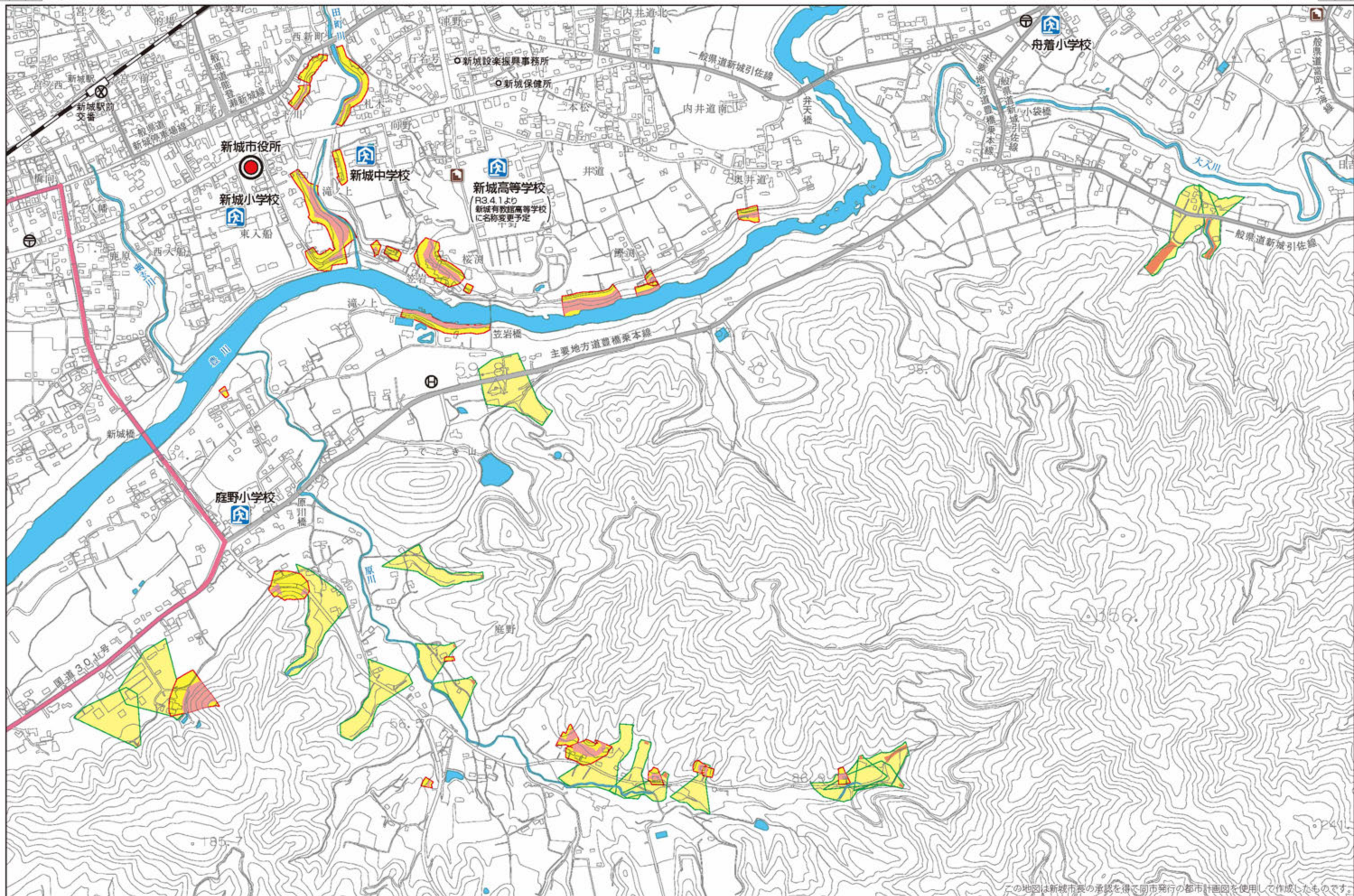
この地図は新城市長の承認を得て同市発行の都市計画図を使用して作成したものです。

土砂災害凡例 土砂災害特別警戒区域 急傾斜地 土石流 土砂災害警戒区域 急傾斜地 土石流 地すべり

1:10,000 0 100 500m



この地図は新城市長の承認を得て同市発行の都市計画図を使用して作成したものです。



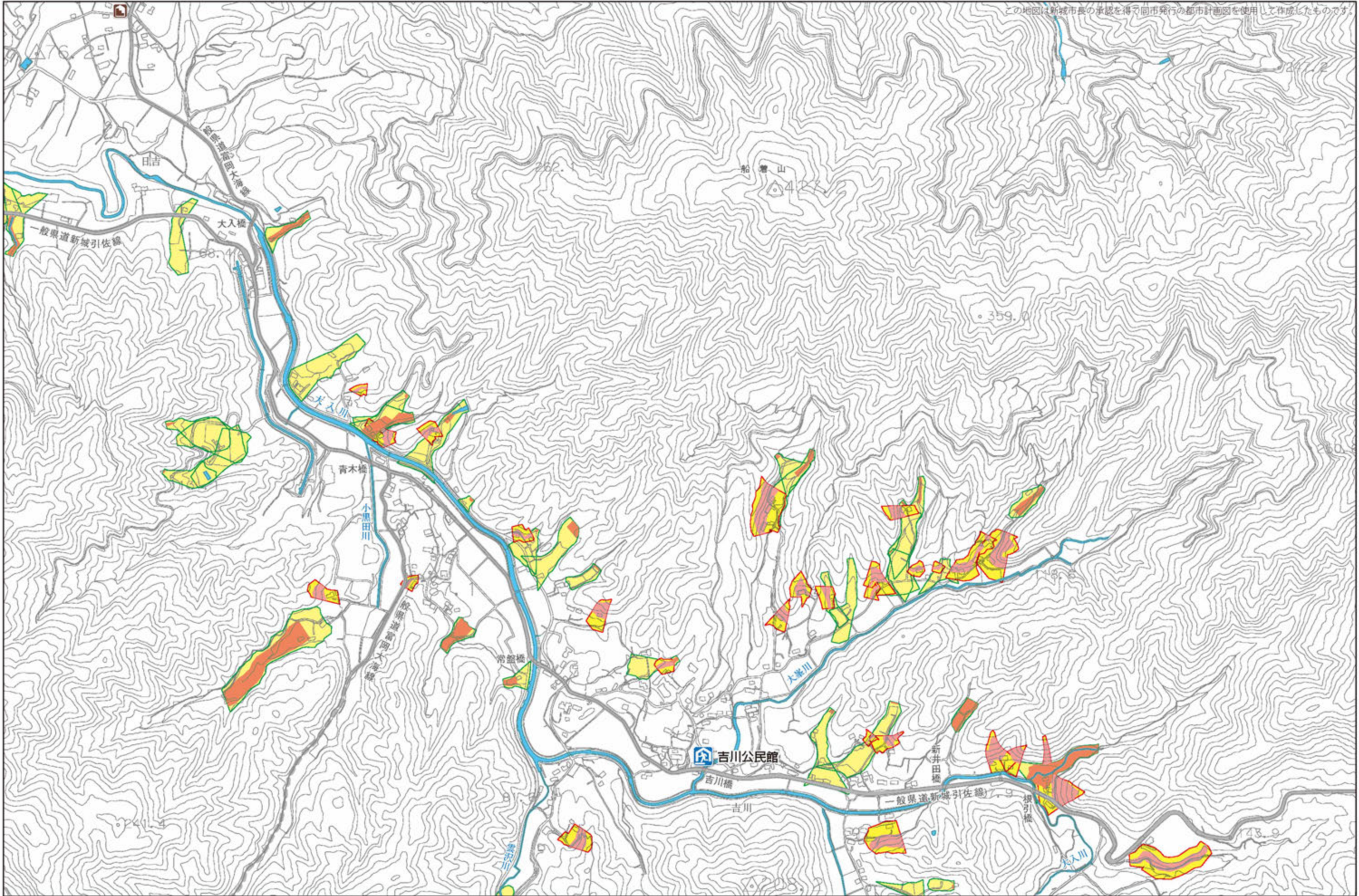
この地図は新城市長の承認を得て同市発行の都市計画図を使用して作成したものです。



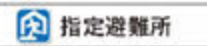
土砂災害凡例 土砂災害特別警戒区域 急傾斜地 土石流 土砂災害警戒区域 急傾斜地 土石流 地すべり

1:10,000 0 100 500m

この地図は新城市長の承認を得て同市発行の都市計画図を使用して作成したものです。



凡例(避難所)



凡例(道路)



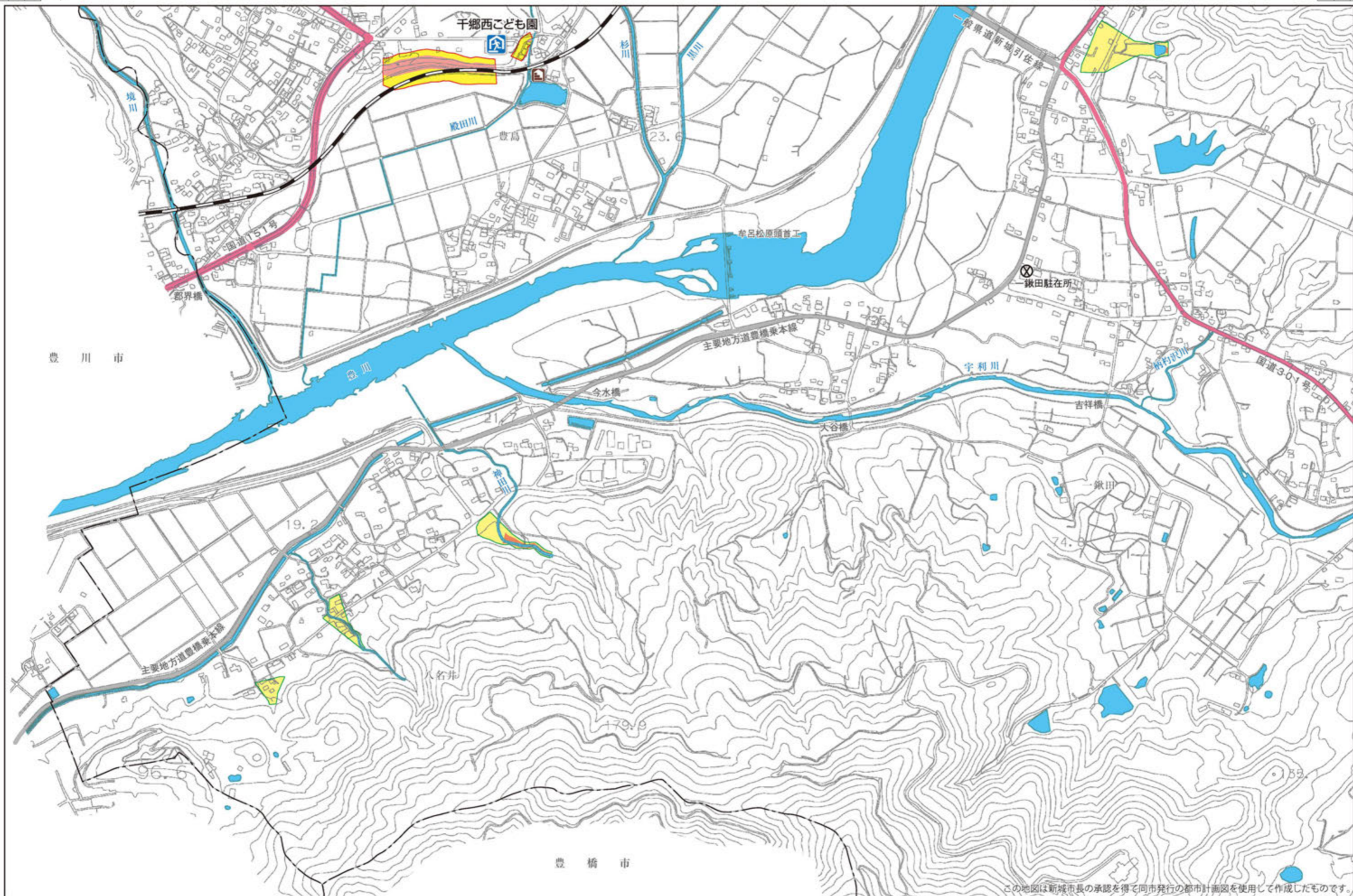
凡例(その他施設)





土砂災害凡例 土砂災害特別警戒区域 急傾斜地 土石流 土砂災害警戒区域 急傾斜地 土石流 地すべり

1:10,000 0 100 500m



この地図は新城市長の承認を得て同市発行の都市計画図を使用して作成したものです。

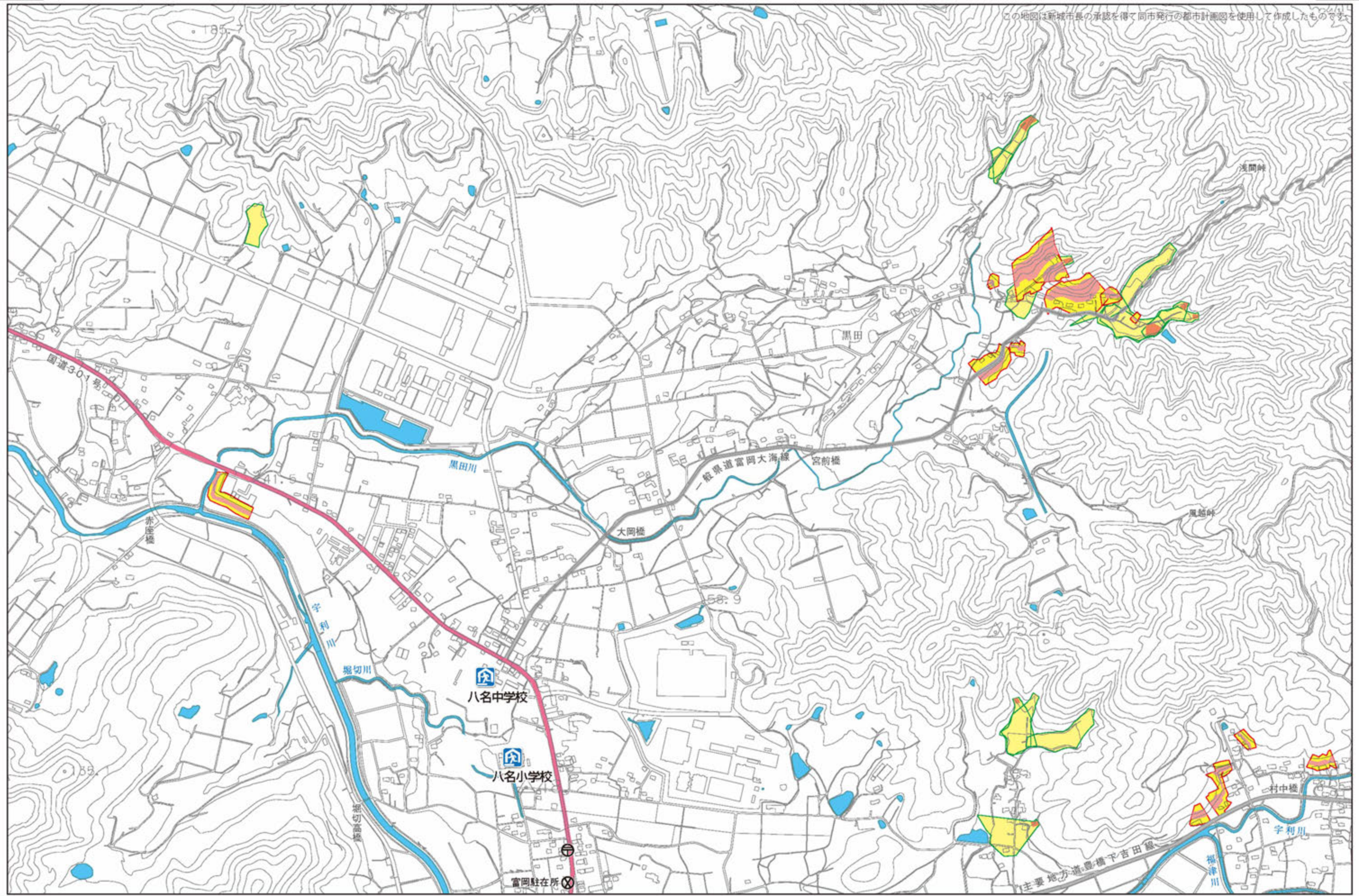
凡例(避難所) 指定避難所 凡例(道路) 国道 県道 高速道路 凡例(その他施設) ヘリポート 消防署 郵便局 警察署 防災倉庫 雨量観測局 道の駅



土砂災害凡例 土砂災害特別警戒区域 急傾斜地 土石流 土砂災害警戒区域 急傾斜地 土石流 地すべり

1:10,000 0 100 500m

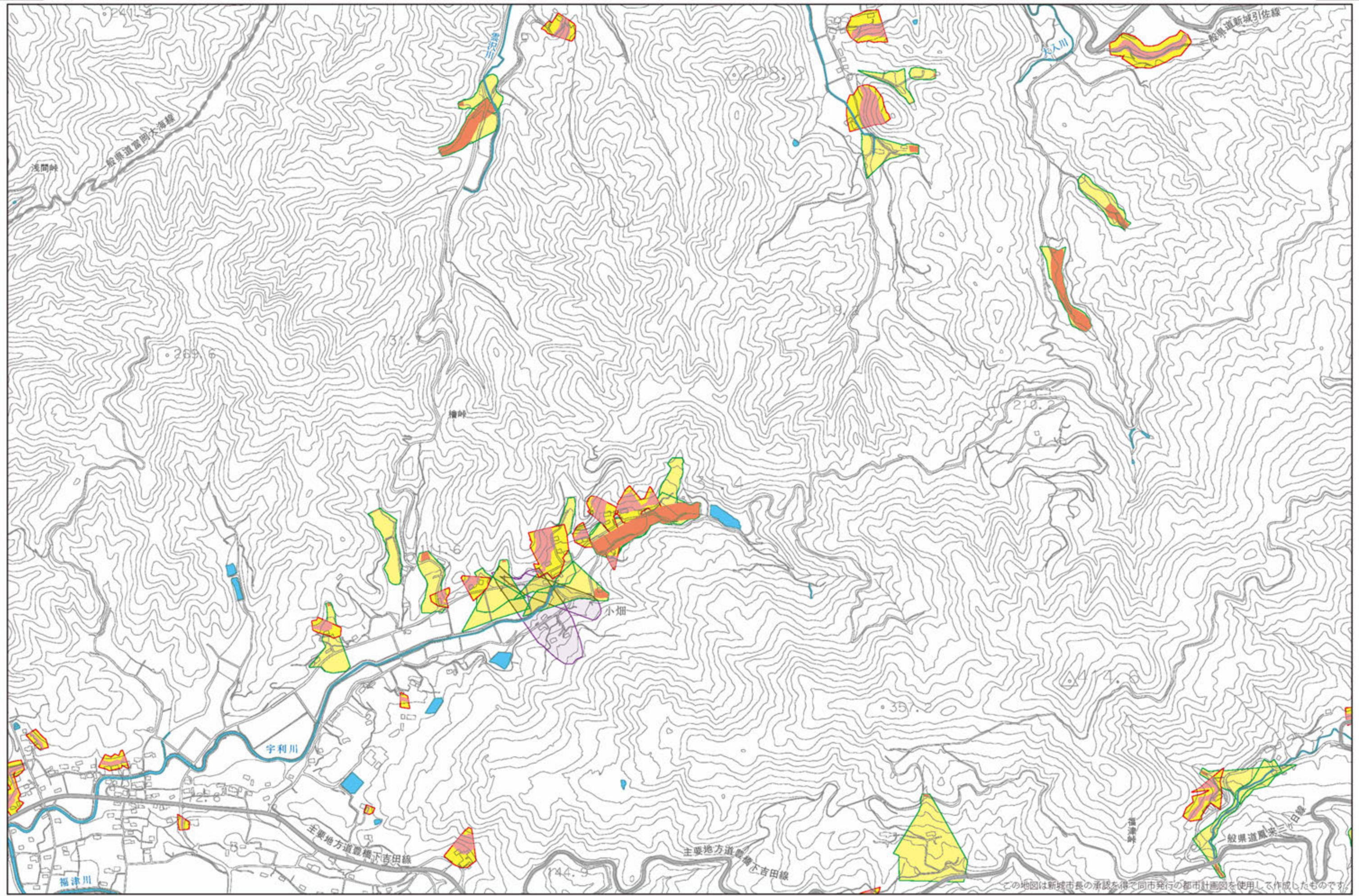
この地図は新城市長の承認を得て同市発行の都市計画図を使用して作成したものです。





土砂災害凡例 土砂災害特別警戒区域 急傾斜地 土石流 土砂災害警戒区域 急傾斜地 土石流 地すべり

1:10,000 0 100 500m



この地図は新城市長の承認を得て同市発行の都市計画図を使用して作成したものです。

凡例(避難所)

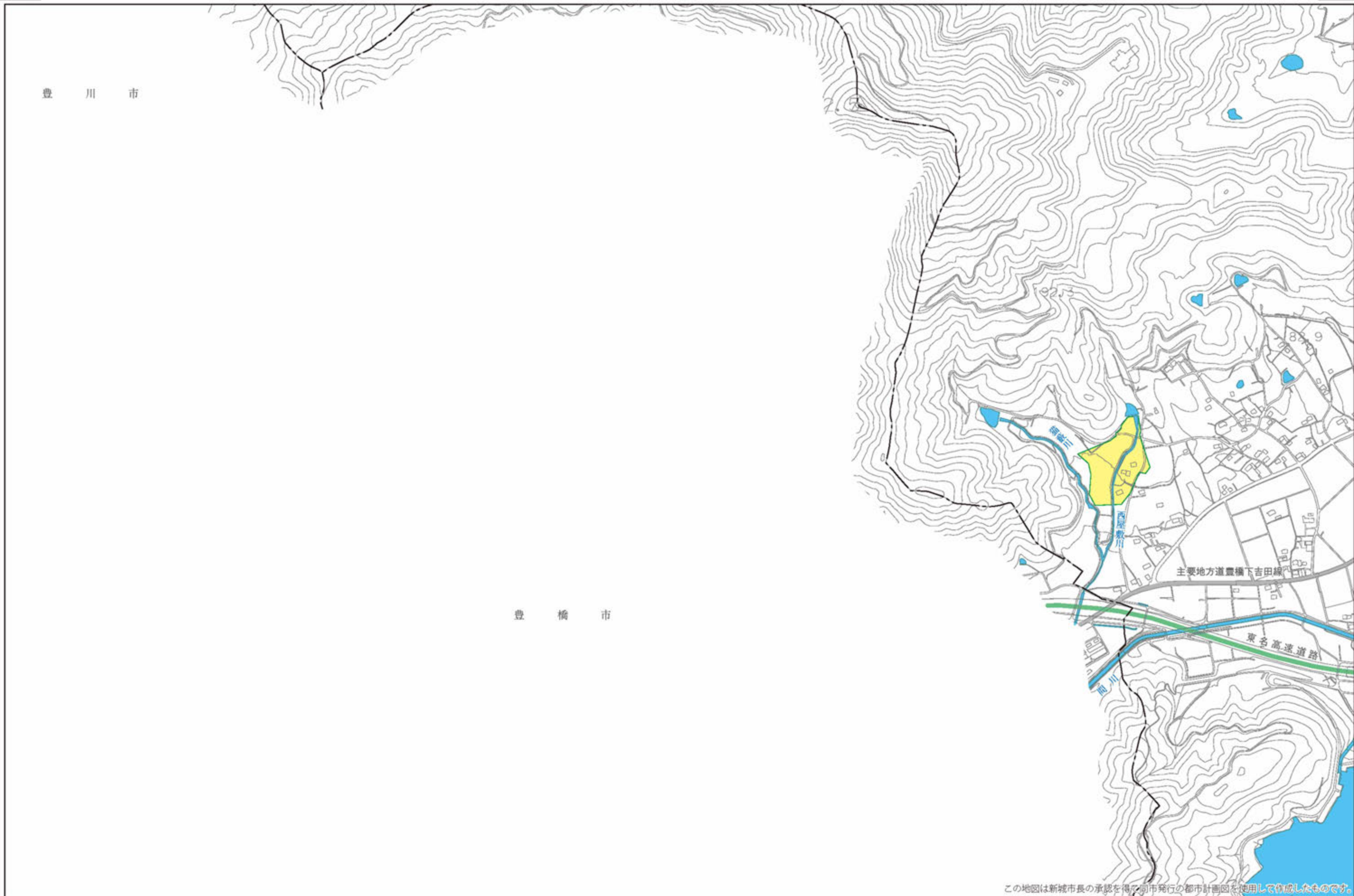
指定避難所

凡例(道路)

国道 県道 高速道路

凡例(その他施設)

ヘリポート 消防署 郵便局 警察署 防災倉庫 雨量観測局 道の駅

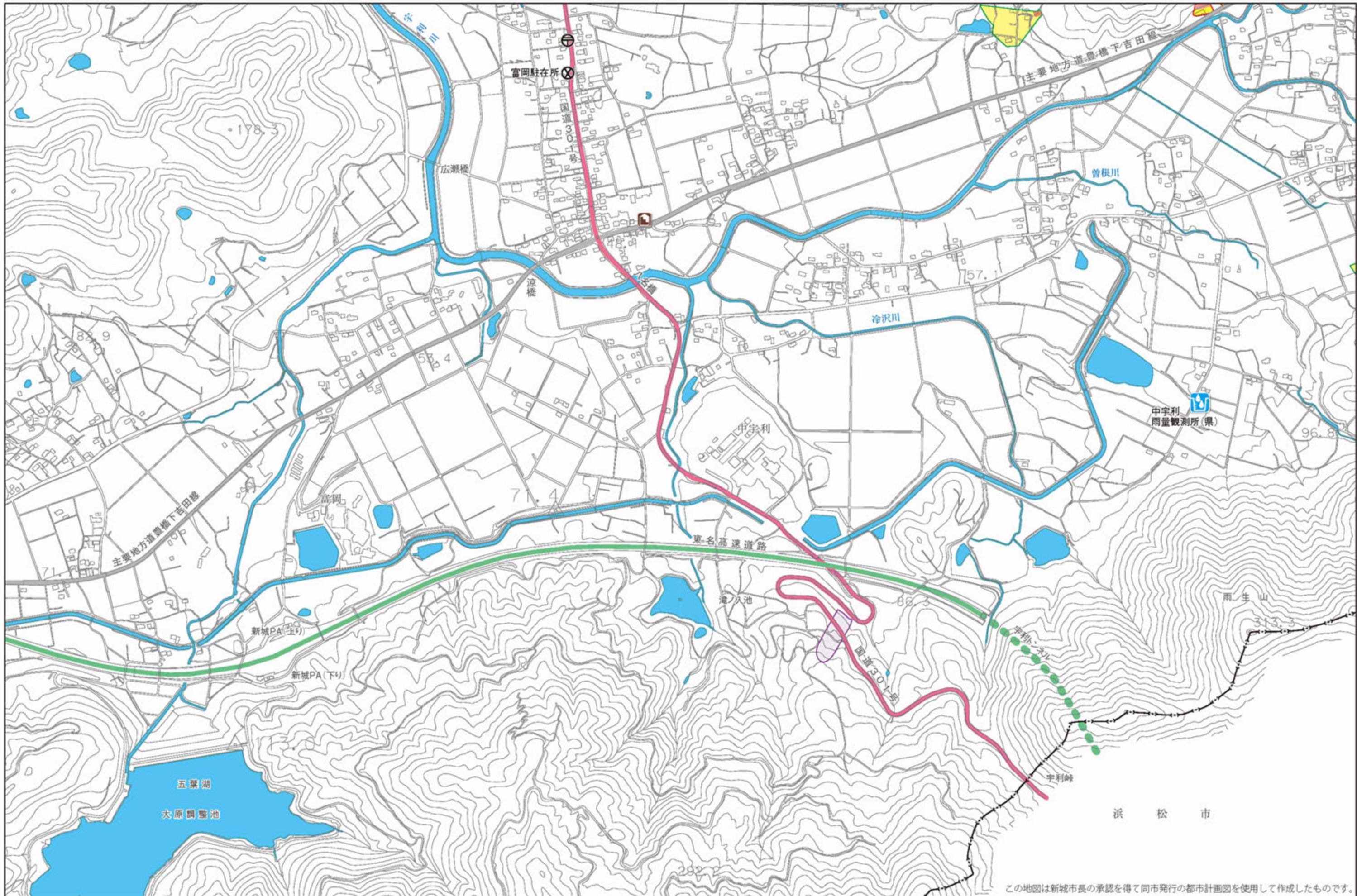


この地図は新城市長の承認を得た同市発行の都市計画図を使用して作成したものです。



土砂災害凡例 土砂災害特別警戒区域 急傾斜地 土石流 土砂災害警戒区域 急傾斜地 土石流 地すべり

1:10,000 0 100 500m



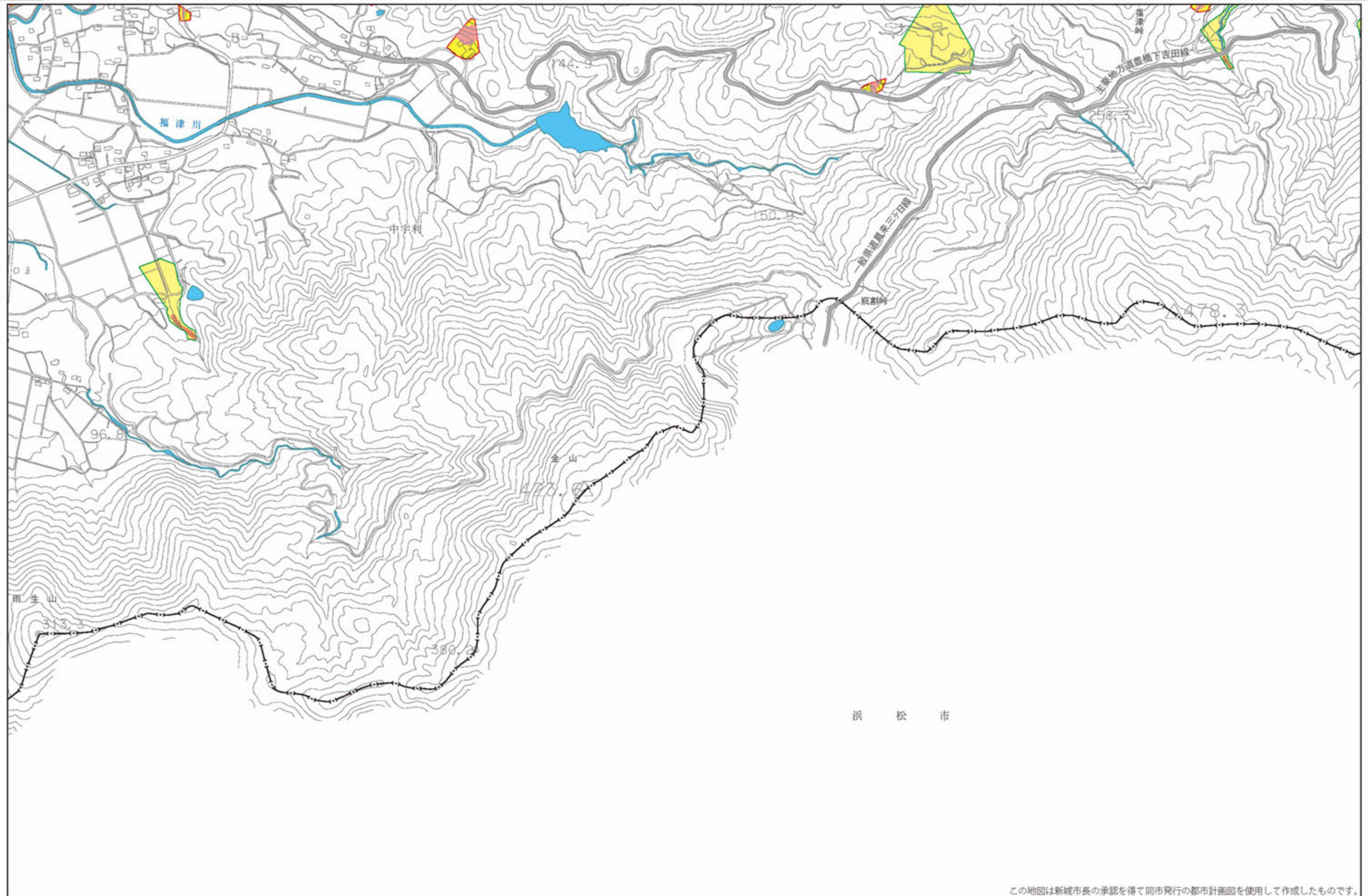
この地図は新城市長の承認を得て同市発行の都市計画図を使用して作成したものです。

凡例(避難所) 指定避難所 凡例(道路) 国道 県道 高速道路 凡例(その他施設) ヘリポート 消防署 郵便局 警察署 防災倉庫 雨量観測局 道の駅



土砂災害凡例 土砂災害特別警戒区域 急傾斜地 土石流 土砂災害警戒区域 急傾斜地 土石流 地すべり

1:10,000 0 100 500m



この地図は新城市長の承認を得て同市発行の都市計画図を使用して作成したものです。

凡例(避難所) 指定避難所

凡例(道路) 国道 県道 高速道路

凡例(その他施設) ヘリポート 消防署 郵便局 警察署 防災倉庫 雨量観測局 道の駅